

ニカメイガの多発生に注意!!

近年、坂井地区を中心にニカメイガの被害が発生しています。今年は越冬世代が平年より非常に多いことから、多発生の恐れがあります。

ニカメイガは年2回発生し、第2世代幼虫が白穂や穂の出すくみ等の被害をもたらします。第2世代を抑えるためには、これから発生する第1世代の防除が大切です。移植栽培でニカメイガに効果の高いフェルテラまたはプリンス等の箱施薬を行っていない場合は、適期に防除を徹底しましょう。



幼虫の食入による変色茎

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう

福井米エコフアーマー化推進中

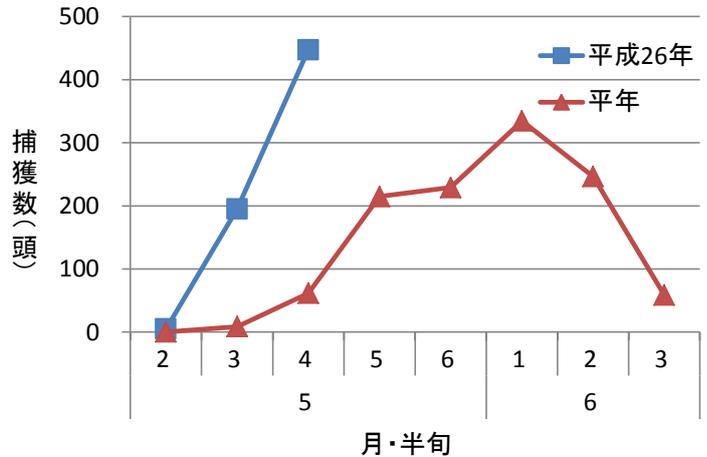
1 フェロモントラップにおける捕獲状況

越冬世代成虫の捕獲時期は5日以上早まっており、捕獲数も平年より非常に多くなっています。

2 防除時期

第1世代幼虫による加害は、6月上旬頃から増加する見込みです。

	防除適期
粉剤、液剤	<u>6月5～10日頃</u>
粒剤	<u>6月1日頃</u>



フェロモントラップにおける成虫捕獲数 (坂井市)

3 防除薬剤

病害虫名	薬剤名	使用濃度	10a当たり 使用量	注意事項
ニカメイガ 第1世代 (本田防除)	エルサン粉剤 3DL		3kg	・粒剤使用の場合は、1週間程度灌水し、かけ流しはしない。また漏水の多いところでは使用しない。 ・パダン粉剤DL、パダン粒剤4、パダンSG水溶剤はナス科野菜、タバコにかからないように注意する。
	パダン粉剤DL		3~4kg	
	エルサン乳剤	1,000倍	100ℓ	
	パダンSG水溶剤	1,500倍		
	パダン粒剤 4		3~4kg	

※育苗箱施薬をしても変色茎が多く見られる場合は追加防除してください。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>) を確認して下さい